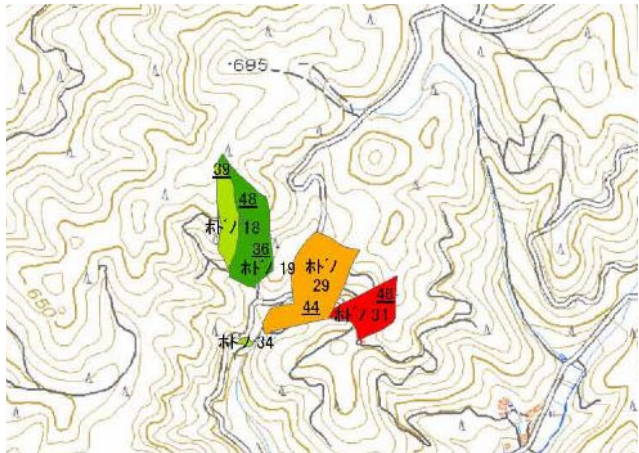


地域材フェアトレーディングの仕組みづくり ～額田の優良材活用社会実験～



一般社団法人奏林舎 唐澤晋平

概要説明

- 額田地域について
- 奏林舎の取り組み

- 社会実験のねらいと方法
- 社会実験の流れ
- 製材結果と収支



岐阜県

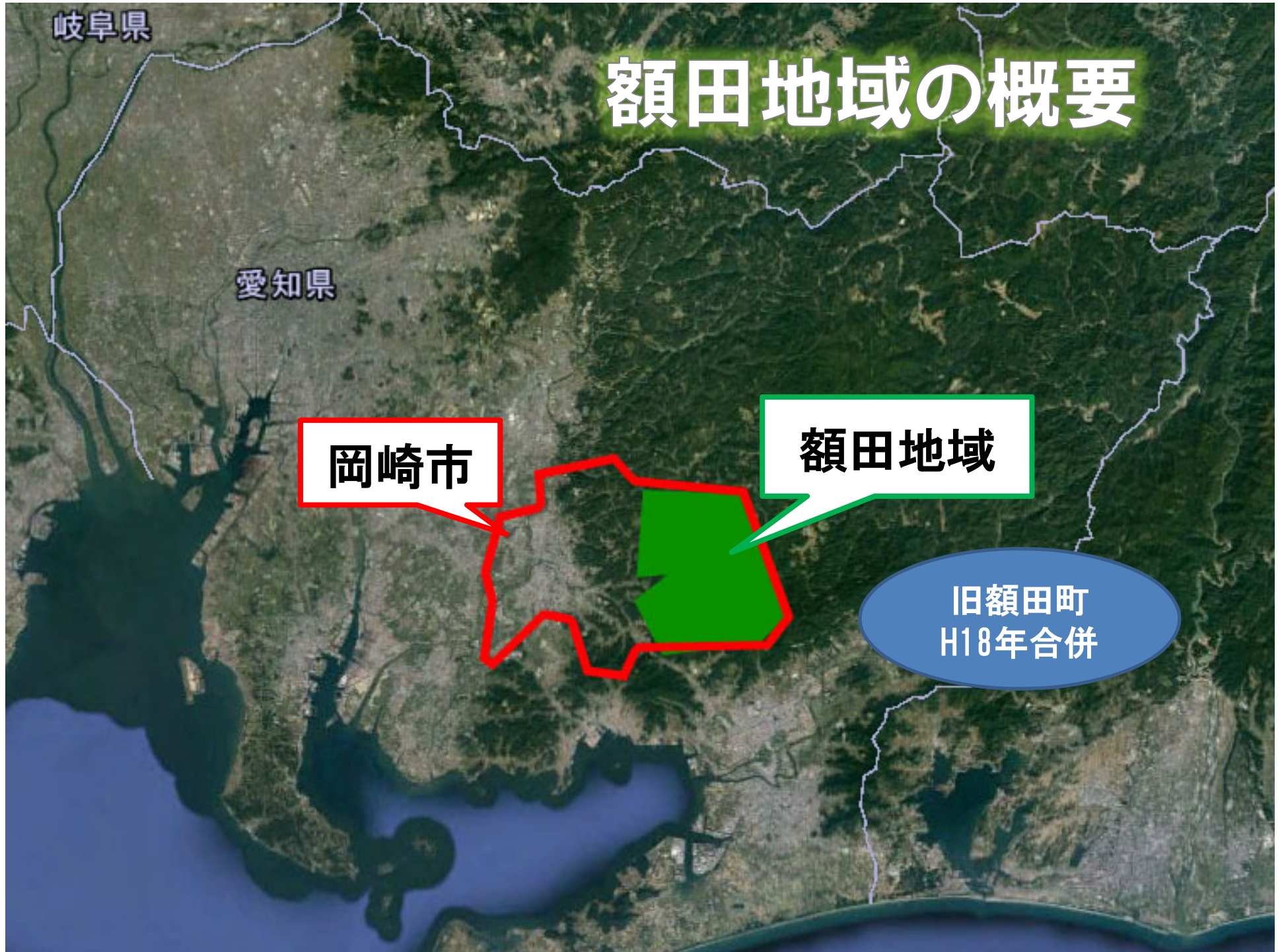
額田地域の概要

愛知県

岡崎市

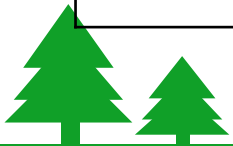
額田地域

旧額田町
H18年合併

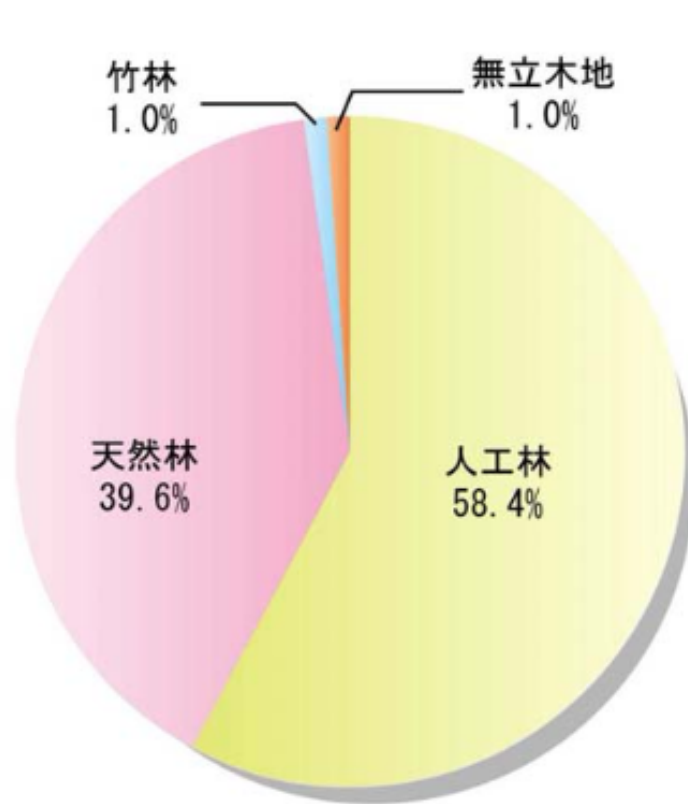


岡崎市と額田地域

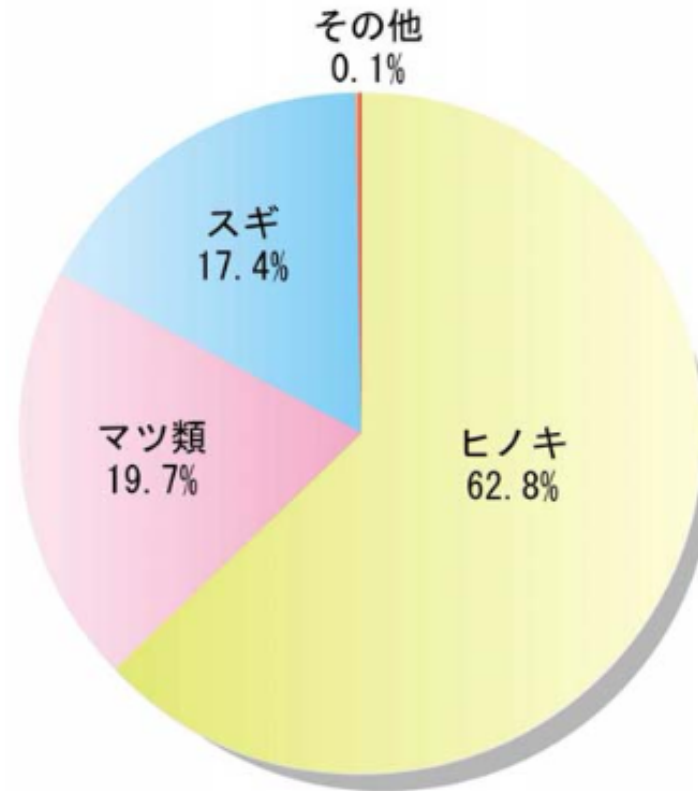
	岡崎市	うち額田地域 (旧額田町)
面積	3万8千ha	1万6千ha (岡崎市の42%)
人口	38万人	8000人 (岡崎市の2%)
森林率	60%	83%



人工林は約6割、ヒノキが多い

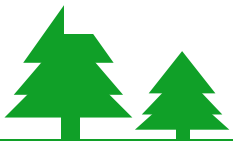


[林種別割合 (岡崎市)]



[人工林の内訳 (岡崎市)]

岡崎市森林整備ビジョンより



宮崎村村長・山本源吉の指導で 明治時代より植林に取り組む



額田林業クラブで枝打ちを推進 無節の柱材を生産



枝打材でも価格は下落...「死んでも死にきれない」

矢作川森の健康診断 2008/2013

おかざき森の健康診断 2018



額田木の駅プロジェクト 2015年～



奏林舎の理念



地域に根差した豊かな森づくりを通じて、
山里と流域全体の持続的発展に貢献する

2018年3月法人化



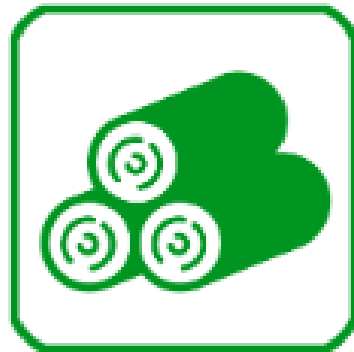
奏林舎の4事業



森を調べる



森を手入れする



森を活かす



森を学ぶ



森を調べる GPSを活用した境界情報の整理、測量



森を手入れする 民有林の間伐、森林整備



森を活かす 薪の加工販売・木材利用の促進



森を学ぶ 環境教育プログラムの企画運営



社会実験のねらい

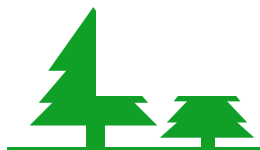
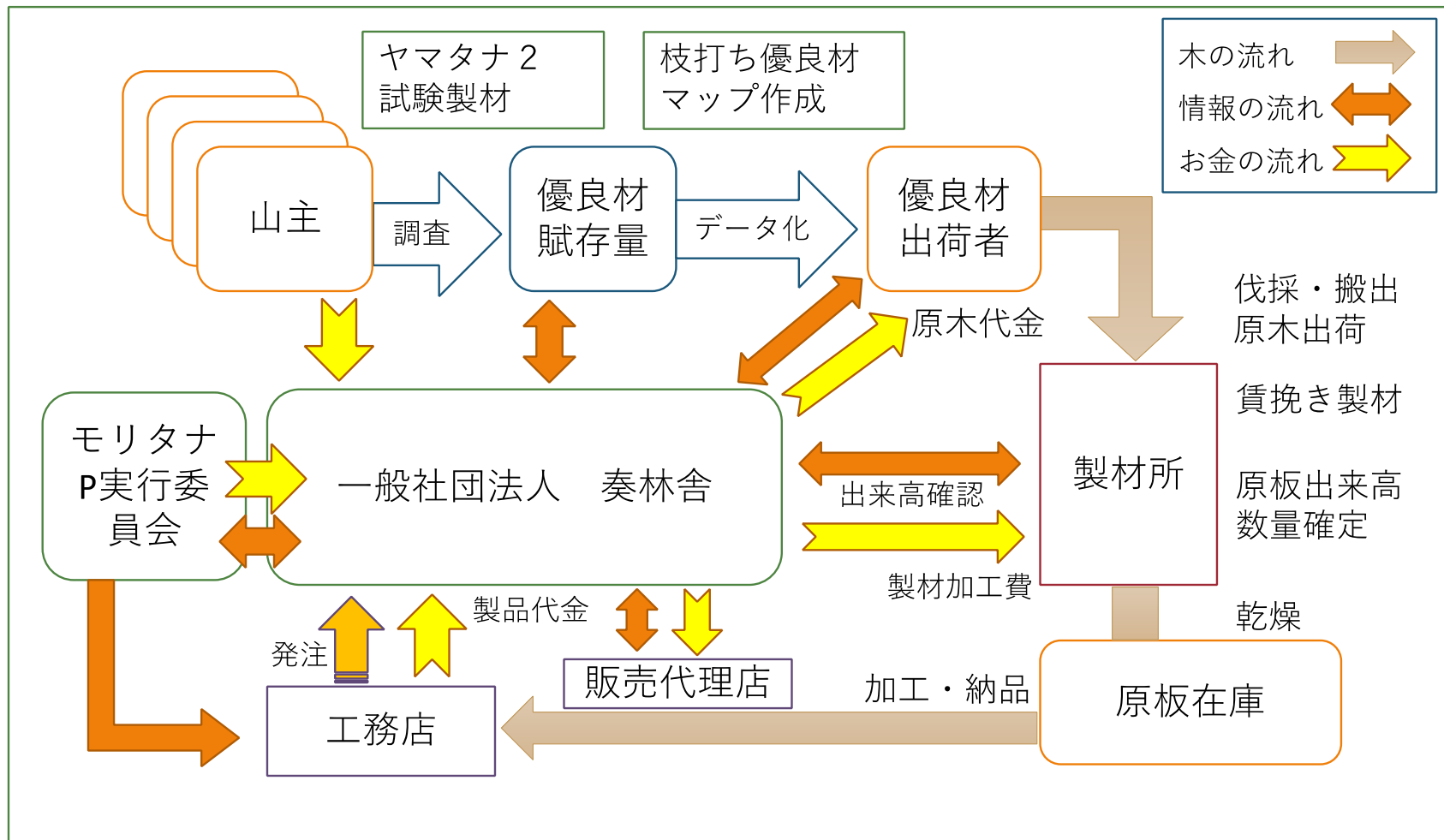
	現状	目指す姿
流通	丸太は市場に出しておしまい	製品づくりや販売まで関わる(6次産業化)
原木価格決定	市場で買い手が価格決定 良い材も評価されにくい	どんな製品が取れたかによって 原木価格が決まる
山元への還元	ほとんどなし(数%程度...場合 によっては赤字)	労力に見合う対価 フェアトレーディング
山林情報	地域にどんな木(材)があるの か分からない 地域材の注文に対応できない	どの山にどんな材がどれくらい あるのか把握できており、営業 もできる
山主の意識	放置、放任、無関心、あきらめ、 山離れ	森と主体的に関わり、森と地域 の未来を描ける



社会実験の概要

- 枝打ちされたヒノキ(Φ24cm × 2m × 100本 = 11立米)から50坪程度の無節床板材を中心に製造販売。
- 製品の取れ高に応じた出材者へ清算
- 出材地の山林情を調査、マッピング
- 山主の意向を調べるアンケート調査
- 調査、仕組みづくりについてはトヨタ財団の「しらべる助成」を活用
- 製品化のための運転資金は有志からの出資で資金調達(額田地域内十モリタナ実行委員会)





2017年9月 社会実験の提案と山の棚おろし実習



2018年3月

社会実験キックオフ・参加希望者への説明会



2018年5月 山の棚おろし&製材研修



2018年5月 山の棚おろし&製材研修



品名	数量	単価	合計
① 19x135 (15x110)	7	0.0528	34320
② 19x135 (15x110)	2	0.0066	2640
③ 19x100 (15x95)	2	0.0046	2530
④ 15x175 (12x60)	2	0.0126	5670
⑤ 30x65 (20x60)	9	0.0120	3600
⑥ 65x65 (40x60)	5	0.0144	1720
⑦ 45x135 (20x120)	1	0.0048	960
⑧ 200x材	1	0.0017	800
製材合計		0.095	51200

項目	金額
伐採費	14500
搬出費	8000
輸送費	2500
製材費	20000
乾燥費	7000
加工費	12000
貯蔵費	5000
販売費	6000
合計	83780



2018年9月 出荷希望者説明会 & 出材開始



出荷伝票とナンバーテープで
誰が、どこの山から出した丸太かトレース



2018年11月～ 製材

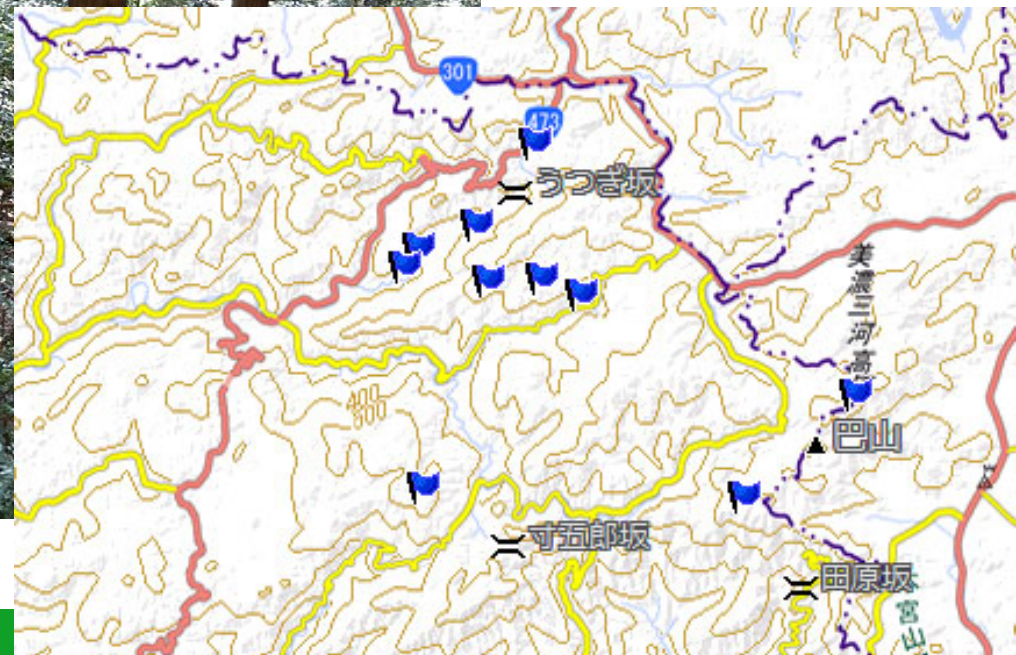


2018年11月～ 製材

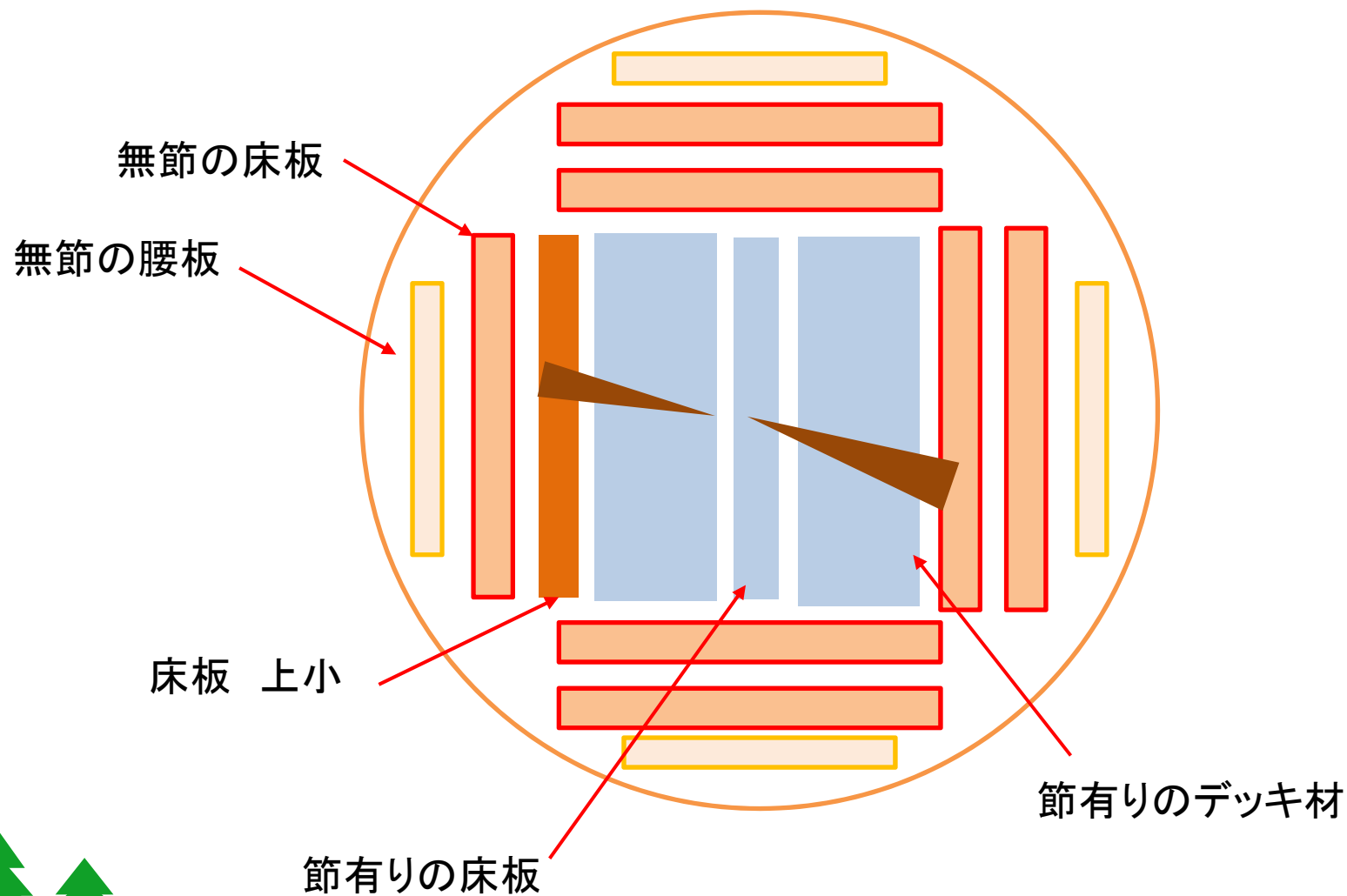


2019年2月

出材地の調査 (GPSとプロット調査)



製品としては5パターン



製材した結果

- 出荷材積 12.6立米(102本)
- 径級 20cm～36cm 主に24cm前後
- 出荷者 8名/12カ所から
- 製品取れ高

	腰板無地	床板無地	床板上小	床板並	デッキ並
サイズ (粗材原板)	2000*15*90	2000*19*135	2000*19*135	2000*19*135	2000*45*135
枚数	381	548	123	78	133
製品での坪数	17	34	7	4	8

全体の原板評価額118万円



収支概算 (全部売れたら...の想定)

■売上	159万円
・原板販売	74万円
・製品販売	85万円

平均原木単価
4万円/立米

■原木代	50万円
■伐採搬出・運材費	14万円
■製材費	32万円
■乾燥・加工・梱包	9万円
■販売管理・予備費	48万円

出材者

製材所

加工工場

販売管理者

■利益	6万円
-----	-----

※損益分岐点は製品販売が9割以上進んだ時



取れ高に応じて各出材者へ清算

Aさんの例 6本 0.79立米 出荷

腰板 無地	床板 無地	床板 上小	床板 並	デッキ 並
27	42	8	5	6

Aさんの原板評価額: 83,830円
全体の原板評価額118万円の7%

出材者に支払う総額 $64\text{万円} \times 7\% = 4\text{万}5\text{千円}$

立米単価 57,267円 (原木代+搬出+運材費)

※ヒノキ並材は市場で15,000円/立米程度



原木の直径や品質(=製品の取れ高)による立米単価の違い

Aさん 6本 0.79立米 平均末口直径25.6cm

腰板 無地	床板 無地	床板 上小	床板 並	デッキ 並
27	42	8	5	6
31%	48%	9%	6%	7%

評価額 83,830円 立米単価 57,267円

Bさん 10本 1.03立米 平均末口直径22.8cm

腰板 無地	床板 無地	床板 上小	床板 並	デッキ 並
32	29	11	13	3
36%	33%	13%	15%	3%

評価額 73,797円 立米単価 38,671円



山主にちゃんとお金がリターンして森を守れる利他的な材

リタウッド



床板 38,400円/坪
在庫 10坪分

腰板 22,000円/坪
在庫 17坪分

